

令和6年10月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,173	211,746	212,400	212,543	△ 654	△ 797
2 調定量	m ³	603,777	4,344,932	4,412,000	4,434,824	△ 67,068	△ 89,892
3 調定料金(税抜)	円	184,909,619	1,324,275,899	1,333,000,000	1,214,069,792	△ 8,724,101	110,206,107
4 口振加入件数	件	24,706	173,461	—	174,635	—	△ 1,174

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,232	134,898	135,190	133,519	△ 292	1,379
6 調定量	m ³	382,567	2,713,537	2,696,580	2,716,769	16,957	△ 3,232
7 調定料金(税抜)	円	88,100,299	563,915,279	567,039,000	485,744,873	△ 3,123,721	78,170,406

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	72,532	—	73,990	△ 1,458
9 給水件数	件	30,041	—	30,112	△ 71
10 開栓処理件数	件	160	1,667	1,670	△ 3
11 閉栓処理件数	件	187	1,622	1,688	△ 66
12 給水工事設計審査	件	28	237	330	△ 93
13 給水工事竣工検査	件	63	329	382	△ 53
14 経年メーター交換	件	523	3,048	2,252	796
15 メーター口径変更	件	3	13	22	△ 9
16 督促状発送数	件	1,387	9,839	9,453	386
17 月末停止件数	件	115	—	104	11

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	21	157	204	△ 47
19 排水設備工事完了検査	件	25	157	199	△ 42

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D	R 4	R 3
20 当年度分	214,382,841円	85.28%	218,639,486円	83.63%	1.65%	85.15%	85.35%
21 過年度分	3,141,058円	98.46%	3,661,378円	98.01%	0.45%	98.13%	97.87%
22 計	217,523,899円	-	222,300,864円	-	-	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D	R 4	R 3
23 当年度分	103,827,026円	81.57%	95,211,622円	80.40%	1.17%	82.09%	83.27%
24 過年度分	798,946円	99.14%	803,004円	98.95%	0.19%	99.14%	99.04%
25 計	104,625,972円	-	96,014,626円	-	-	-	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D	R 4	R 3
26 当年度分	3,745,100円	87.35%	4,315,100円	84.68%	2.67%	88.97%	86.43%
27 過年度分	1,186,000円	16.13%	1,283,400円	26.31%	△10.18%	12.30%	12.18%
28 計	4,931,100円	-	5,598,500円	-	-	-	-

特 記 事 項

1. 10月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は203,401千円(税込)で、前月期に比べて9,532千円の減、対前年同月比では4,576千円の減となっています。営業収益は203,821千円、営業外収益は事務手数料や補償金など5,288千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など105,042千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金として176千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など7,966千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は87,926千円(税込)で、前月期に比べて6,383千円の増、対前年同月比では9,334千円の増となっています。営業収益は87,926千円、営業外収益は、負担金など2,053千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など94,696千円、特別損失は14千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、ありませんでした。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など167,973千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市産業フェスティバルに参加

10月6日(日)に登米市迫体育館・エスファクトリー東北中江公園を会場に「第17回登米市産業フェスティバル」が開催され、上下水道部としてブースを出展しました。体験ブースには、本市の水道水と市販のミネラルウォーターの飲み比べや、汚水をきれいにする微生物を顕微鏡で見ってもらう体験、展示ブースには、能登半島地震給水応援写真展示や、全国のマンホールカードの展示など行いました。体験コーナーは親子連れや小学生に人気があり、とても賑わっていました。



【産業フェスティバルの様子】

(2) 水道事業料金徴収・給水装置管理等業務委託プロポーザル審査委員会の開催

10月9日(水)に第2回登米市水道事業料金徴収・給水装置管理等業務委託プロポーザル審査委員会を開催しました。この審査委員会は、プロポーザルの実施に関し、必要事項を決定し適正かつ公平に審査をするため設置されたものです。審査会では、提出された企画提案書に基づきプレゼンテーションが行われ、審査の結果、フジ地中情報株式会社・登米市管工事業協同組合・テクノ・マインド株式会社共同企業体が契約候補者となりました。

(3) 上下水道モニター会議の開催

10月11日(金)に第2回上下水道モニター会議を開催し、保呂羽浄水場と佐沼環境浄化センターの施設見学を行いました。保呂羽浄水場では、川から汲んだ水が飲めるようになるまでの工程について、佐沼環境浄化センターでは、家庭などから排出された汚水が浄化され、川に放流されるまでの説明を聞きながら見学を行いました。今回の見学により、参加者の一人ひとりが上下水道に対する意識が変わり、学んだことを家族や友人に伝えていただくことを期待します。

令和6年10月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	836,738	5,824,927	5,638,210	5,792,983	186,717	31,944
総配水量	774,444	5,407,919	5,259,520	5,395,898	148,399	12,021
1 有効水量	641,901	4,619,227	4,680,160	4,689,802	△ 60,933	△ 70,575
(1) 有収水量	608,227	4,376,053	4,442,800	4,465,927	△ 66,747	△ 89,874
(2) 無収水量	33,674	243,174	237,360	223,875	5,814	19,299
2 無効水量	132,543	788,692	579,360	706,096	209,332	82,596
(1) 漏水量	131,954	787,045	574,980	702,292	212,065	84,753
(2) その他無効水量	589	1,647	4,380	3,804	△ 2,733	△ 2,157
3 有収率	78.54%	80.92%	84.47%	82.77%	△ 3.55%	△ 1.85%

※ 当月期の最大配水量は、10月24日（木）に記録した【26,062m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
浄水施設整備事業	9	693,354	8	663,260	1	10,932	19,162	97.2%
配給水施設整備事業	43	1,240,217	19	794,587	2	40,345	405,285	67.3%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 配管実技講習会に参加

10月3日（木）、水道の配管材料等に触れながら、技術の向上を図り、配水管工事の施工管理や監督業務へ反映させることを目的として、石巻地方広域水道企業団を会場に、配管実技講習会が開催され、職員2名が参加しました。

今回は、耐震管であるダクタイル鋳鉄管の設計時及び施工時の留意点の講義を受けました。その後、各グループに分かれて、実際に配管の接合を、体験を通して学んできました。

今後も、このような研修に積極的に参加し、職員の技術能力の向上と、水道技術の伝承を行ってまいります。



【配管の接合の説明を受けている様子】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	28	72.480
付属施設	0	0.000	
給水装置	83	67.280	
計	111	139.760	

【漏水調査結果：4月～10月（累計）】

※参考：漏水削減効果（金額換算）

約976,352円/日当たり

算定：R5年度給水原価 291.08円

累計漏水量 139.760m³/h

139.760m³/h × 24h × 291.08円

2 下り松ポンプ場沈砂池の清掃作業を実施

10月30日（水）、下り松ポンプ場の沈砂池の中に堆積した土砂の排除と清掃作業を実施しました。

また、この清掃作業に併せて内部の状態確認を行いました。

この作業は、年1回実施しています。



【下り松ポンプ場沈砂池清掃作業の状況】

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	52,594	376,338	363,442	12,896	3処理場
米谷・錦織処理区	11,508	82,271	75,965	6,306	
豊里処理区	29,614	213,248	210,087	3,161	
津山処理区	11,472	80,819	77,390	3,429	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	11,058	82,761	86,208	△ 3,447	
農業集落排水	106,466	805,602	793,716	11,886	24処理場
迫地区	8,158	59,811	59,700	111	
東和地区	2,738	19,413	19,677	△ 264	
中田地区	30,815	229,591	223,506	6,085	
豊里地区	1,905	14,066	13,671	395	
米山地区	43,584	346,558	337,903	8,655	
南方地区	19,266	136,163	139,259	△ 3,096	R6.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	43,345	312,042	308,013	4,029	2,163基
合計	458,408	3,353,870	3,426,708	△ 72,838	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	10	723,015	6	567,237	0	6,241	149,537	79.3%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	89	570,908	21	382,982	18	34,929	152,997	73.2%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 下水道処理施設の放流水の水質検査を実施

10月16日に中田町の石森地区、宝江地区、弥勒寺地区、大泉地区の農業集落排水処理施設において、宮城県石巻保健所による放流水の水質検査が行われました。

今回の検査において対象となった4箇所の処理施設の放流水について試料採取を行い、水質検査を実施したところ、全て水質基準値内となっており、問題はありませんでした。



【試料採取状況】

2 管渠改築工事に着手

10月30日に登米幹線管渠改築工事(1工区)に着手しました。この工事は、経年劣化した下水道管を開削工法により管路(施工延長L=227.98m)、マンホール(4基)の布設替えを行うものです。今後も同幹線の経年劣化した管渠改築工事を継続して実施する予定です。

管渠布設替え後の交通開放は仮復旧の状態であることから、次年度以降において道路舗装の本復旧を実施する予定です。

○浄化槽整備事業受付状況
(10月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	36	44